

戸塚さんがヤングプラザで茶道を始めたのは、4年前に谷津先生と出会ってお茶会に参加したとき。お茶の美味しさにビックリしたのと同時に、美しい作法を身につけたいと思ったことがきっかけだったそうです。

「仕事以外にこうしたサークル活動は気分転換にもなりますし、谷津先生のお話はお茶以外にも、とても勉強になりますよ」と戸塚さん。取材をさせていただいた時も挨拶の大切さや、笑顔の持つ力のお話を伺い、とても心に響きました。

ヤングプラザ友の会についてお話を聞くと、「ボランティアや清掃活動・イベントなどいろいろな活動があつて地域

にとつて必要です。町の活気にもつながると思いますよ。私も友の会のイベントで高尾山に登ったときには山友（やまとも）ができて、その後一緒に登山したこともありま

「仕事も趣味も楽しんで、充実した毎日を過ごせたいですね」と同年代の人たちへのメッセージもいただきました。

今回のお茶会への参加で美味しくも可愛いらしいお菓子により季節を感じることもでき、目で見ても楽しめる、お茶を点てる音、美しい言葉・花草など全てのこと心が踊りました。日本人のおもてなしの心を肌で感じ、感謝の心も学ぶことができました。

五感で楽しむ茶道

ゆったりと美味しいお茶とお菓子を
いただきながら癒しの時間を
茶道サークル「華茶」

おもてなしの心と感謝の気持ち
を学ぶことができますよ

Touda Sachiyo

戸塚祥代さん
(太田市) 職業・リポーター

#01 日本の伝統文化と心を学ぶ

①ヤングフェスティバルのお茶会。サークルの活動日は、第2・4水曜日の午後7時～9時

②今回の取材で、茶道サークル「華茶」と「ChaZlo (ちゃじお)」の合同練習に参加させていただきました。私(豊田)は茶道初体験だったので、ドキドキしましたが、谷津洋子先生(上下西宿・7区)をはじめ、サークルのみなさんに優しく教えていただきました。楽しいお茶会の時間を過ごせました



今回の街角特派員レポートでは、演劇集団「きーぶ・すまいる」を主宰する豊田小百合さんが、おうらヤングプラザで活動する若者に直撃インタビュー。最近の問題も踏まえながら、地域の公共施設を利用するメリットを探ります。

演劇集団「きーぶ・すまいる」のメンバーは今日もおうらヤングプラザで稽古に励んでいます。

Toyoda Sayuri

街角特派員
豊田小百合 (石打・20区)

Profile ●とよだ・さゆり／1990年生まれ／准看護師／演劇集団「きーぶ・すまいる」団長／趣味は演劇に関することはなんでも。特にディズニーのショーが大好き。

若者ライフスタイル MACHIKADO REPORT No.197 ヤングプラザで 改革

私は芸術の短期大学を卒業後就職し、看護学校に通いながら、「きーぶ・すまいる」という劇団サークルを立ち上げました。今はおうらヤングプラザ(以下、ヤングプラザ)で青年クラブ(16～35歳の青少年対象)の一員として、元気に活動しています。

ヤングプラザには、プレイクダンスやバンド、茶道や陶芸など多くのクラブが活動しています。ヤングプラザ友の会(※)の清掃活動や交流会などで他のクラブの人とお話させていただく機会も増えました。

みなさん元気で素敵な人ばかりで「好きなことをする」ということはパワーになり、人を素敵にするのだと肌で感じました。ヤングプラザで活動している中でも一つ感じたことがあります。それは「同年代の若者が少ないなあ」ということです。私も劇団を立

ち上げるまではヤングプラザ友の会の活動などは、よく分かっていたんですけど、しかし、やりたいことはあるのに「始め方が分からない」、「自分の世界を広げたい」と思っている人はいるのではないのでしょうか。

今回の街角特派員レポートでは、ヤングプラザのクラブを紹介。若者にスポットを当てます。そして、私のレポートをきっかけに、一歩踏み出せる若者がいたら、うれしいと思います。

街角特派員とは何か？

街角特派員は、読者の皆さんの代表です。各自が「広報おうら」にレポートを掲載。広報担当と協働で作り上げるレポートです。町づくりへの意見や気になる事業の進捗状況、または自分が皆さんにアピールしたいことなど、突撃取材と顔に衣着せぬ直言で、皆さんの「そこが知りたい」に答えます。

(※)ヤングプラザ友の会については、7ページに解説があります。

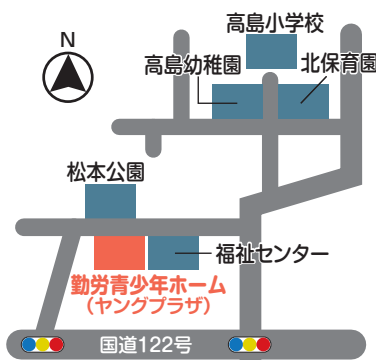


インタビューする豊田さん

おうらヤングプラザ (邑楽町勤労青少年ホーム)

働く青少年に憩いやスポーツ、趣味、文化教養などの場を提供することを目的とした公共の施設

- ▶開館時間 火～土曜日・午前9時～午後9時30分
日曜日・午前9時～午後5時(月曜日・年末年始は休館)
- ▶施設の概要(利用できる場所)
軽運動室、音楽室、工芸室、集会室、講習室、料理実習室、娯楽談話室、プラザあり～な(勤労者体育センター)
- ▶講座に参加する場合
①申込の開始日初日は、講座に参加する本人が直接申し込む
②「申込開始日」の翌日からは、直接または電話で申し込む
- ▶URL <http://www.town.ora.gunma.jp/youngplaza/index.html>
- ▶問合先 おうらヤングプラザ ☎89-1501
※個人・団体で利用する場合は、事前に予約が必要です。



【所在地】邑楽町大字石打 1123

おうらヤングプラザのことを、通称「ヤンプラ」と言う人もいますが、正式名称は「邑楽町勤労青少年ホーム」ですよ。



谷津さんがヤングプラザで活動を始めたきっかけは、フットサルができて、地域のメンバーも参加しやすい場所だったからだそうです。

友の会の活動について「コミュニティが広がるし、自分にも新しい出会いがありました。仕事以外で交流のチャンスがあるので、とてもいい会だと思っています」と笑顔で答えてくれました。

「他にもいろいろな職種の人たちと出会って、話を聞いているとみんな頑張っているんだと感じて、自分も頑張れるんです。他のサークルと合同試合も行なっていて、どんな人のつながりが広がっていきます」。

いろいろな年代の人のお話

を聞くと違った視点から勉強にもなりますよね。明るくて優しい谷津さん。小学校で子どもたちにサッカーの指導もしているそうです。きつと教えてもらった子どもたちは、みんなサッカーが大好きになったと思います。

最後に若者へ「一言」としてヤングプラザを利用して、仲間を作っているいろいろな行事に積極的に参加して、楽しいライフスタイルを送りましょう。素敵な出会いと社会人の友達ができますよ」と、若者が一歩踏み出せそうな言葉をいただきました。

フットサルの見学もさせていたけど、笑い声が飛び交い、汗も輝き、みなさんとてもかっこよかったです。

フットサルでリフレッシュ

年齢層も幅広く楽しく
フットサルができます
フットサルチーム「Bos SV 2」

楽しく、仲良く、元気に
一緒にプレイしましょう！

Yatsu Masahiko



谷津正彦さん
(十三坊塚・6区) 介護施設勤務

#03 仕事帰りにスポーツでいい汗

サークル活動で女子力アップ

今日の自分より明日の
美しい私になれる
「自分へのご褒美レッスン」

心も体も美しくなるための
レッスンが受けられますよ

Katayama Rie



片山理絵さん
(太田市) 職業・保育士

#02 美しくなる秘けつが満載のレッスン

片山さんが、ヤングプラザでサークル活動を始めたのは2年前。

「職場の同期に誘われ、ピラティスを体験して、すぐ気に入ってサークルに参加しました。今ではレッスンの後、ぐっすり眠れるんですよ」。

「仕事帰りに疲れているからこそ、来なくなるんです。今日の疲れをリセットしてズッキリ、明日からまた頑張ろうという気になります」と笑顔で語る片山さん。

友の会の活動については、「他のサークルの人たちとは、清掃活動のときに顔を合わす程度。活動内容は知らないんです。興味のあるイベントが開催されたら、参加してみたいですね」と話してくれました。

「同年代の人たちは一人でも時間をつぶせてしまうので、わざわざ地域の施設でサークル活動をするといった考えを持つ人は、少ないのかもしれない。知らない人とながらうわいさもあるのでは」と片山さんは話します。

「仲間代の人たちは一人でも時間をつぶせてしまうので、わざわざ地域の施設でサークル活動をするといった考えを持つ人は、少ないのかもしれない。知らない人とながらうわいさもあるのでは」と片山さんは話します。

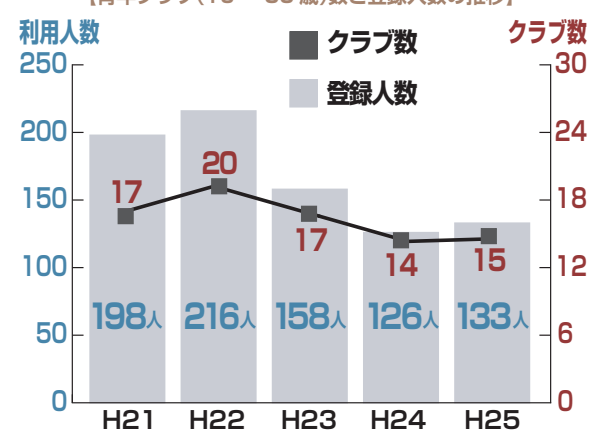


- ① チームの活動日は、毎週水曜日の午後6時30分～8時。みんな楽しくプレイしています
- ② おうらヤングフェスティバルに先立つ、3月1日～7日の間、勤労者体育センター利用者によるスポーツ交流大会（フットサル、卓球、バドミントン、パドルテニス）も行われました。フットサルはリーグ戦。活動日の違うチーム同士が試合をすることで、交流を深めていました



- ① レッスン風景。サークルの活動日は毎週木曜日の午後8時～9時です
- ② 講師の対比地倍子先生（太田市）は「女性として必要な美しくなるための要素を取り入れたレッスンなので、女子力アップにもつながります。トレーニング方法を身に付けておけば、結婚、そして出産後もトレーニング次第で、美しさを保つことは可能です」と話してくれました

【青年クラブ(16～35歳)数と登録人数の推移】



クラブ数や若者の人数が減少している！？

若者の利用者を増やすための手段はあるのでしょうか…

なぜ、若者の利用が減ってきたんだろう…



若者の利用者数を増やすため講座情報を町ホームページに掲載したり、一度講座を受講した人に新しい講座のご案内を郵送したりしています。特に若者のニーズがどのようなものなのか知ることが近道なので、講座終了後にアンケートもとっています。

今後は友の会のメンバーからも意見を聞いて、講座に「若者ニーズ」を反映させたいですね。講座からサークル結成へとつながれば、利用者の増加にも結びつきます。

年代層や職種の違う人と出会えるチャンスを、若い人にはヤングプラザで生かしてほしいですね。

若者の興味を
探ることが近道です

Yoshida Kiyoshi



おうらヤングプラザ
吉田享史館長

若者向けの講座がヤングプラにはありますよ

みなさんの意見を反映した各種講座もあります。今回は青年韓国料理講座をご紹介します



2月19日に開催された青年韓国料理講座。講師は韓国出身の岡安貴順さん（水立大黒・23区）でした。この日のメニューは野菜チジミ、サムゲタン、それと白菜サラダ。参加した皆さんは、本場韓国のおふくろの味に舌鼓を打っていました。阿部有希乃さん（大泉町）は、「韓国料理を家でも作ったことはありますが、講座に参加して本場の味を教えてもらったのは初めて。覚えたレシピで、家族にも作ってあげたいですね」と話していました。



若者向けの講座が多いのもヤングプラザの特徴です。私も参加したいなあ～。



Kajiya Atsushi

ヤングプラザ友の会・会長

梶屋敦史さん（前原・4区）

Profile ●かじや・あつし／岡山県出身／1985年生まれ／会社員／ダンスサークルF. B. I代表／趣味はダンス・スノーボードなど

友の会 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/Ourayangupuraza>

何もしないのはもったいない まずは飛び込んでみてください

友の会の活動について「若い人にもっと来てほしいですね。友の会主催のイベントや活動自体はおもしろいと思うのですが、新しい参加者が増えないのは、やっぱり告知の工夫が必要だと感じます」。ヤングフェスティバルについても「若者にもっと来てもらうことが一番の課題。来て

「友の会の梶屋会長にインタビューしてきました」
梶屋さんがヤングプラザで活動を始めたきっかけは、会社の先輩がブレイクダンスをしていて見学に来たことがきっかけだったそうです。今では仕事と遊びのメリハリがついて毎日充実していると話します。

もらいたい年代層に何か特典を付けるとか…。まずは来てもらって、僕たちの発表を見て、やってみたい！という人を増やしたいんです」。「社会人になると会社の外に友達を作るのは難しいし、やりたいと思っても一人でサークルに入るのは勇気がいること。何かに熱くなる若者が少なくなっているのも理由だと思います」と梶屋さんは語ります。

どうやって若者にもっとヤングプラザを利用してもらえるのでしょうか。「知るきっかけをたくさん作ってあげたいです。たくさんの人に意見も聞きたい。こんなクラブがあったら入るのになあとか、こんな講座があったらやってみたいとか。知ってもらうことと、意見を取り入れていくことが必要だと、確かに感じます」。



梶屋さんは「やろうと思えばたいがいのことではできません。何もしないのはもったいない。やってみないと自分に分かるのかもしれない。だからぜひ、飛び込んでみてください」と力強いメッセージを送ります。

今回のインタビューで問題点や改善点が見つかったような気がします。

友の会では、毎年ヤングプラザ周辺の清掃活動も行っています→

ヤングプラザの青年クラブ（16～35歳）の一覧

クラブ名	活動内容	曜日	時間
F・B・I	ブレイクダンス	毎週火曜日	20:00～21:30
BosSV2	フットサル	毎週水曜日	18:30～20:00
FC 難勝	フットサル	毎週水曜日	20:00～21:30
HACHI	バンド演奏	第1・3・5水曜日	19:00～21:30
華茶	茶道	第2・4水曜日	19:00～21:30
香工房	陶芸	第1・3木曜日	19:00～21:30
ChaZIO	茶道	毎週木曜日	19:00～21:30
自分へのご褒美レッスン	ピラティス	毎週木曜日	20:00～21:00
きーぷ・すまいる	演劇	第2・4木曜日	19:00～21:30
SELECTIVO de OHRA	フットサル	第1・3・5金曜日	19:00～21:30
FC APRICOT	フットサル	第2・4金曜日	19:30～21:30
SUBE	フットサル	毎週土曜日	9:00～12:00
HK	バンド演奏	毎週土曜日	13:00～15:00
BRUSH	フットサル	第1・3・5土曜日	17:00～19:00
正林FC	フットサル	第2・4・5日曜日	9:00～12:00

左に示したのが、現在利用している青年クラブ。16歳以上から35歳までの人が対象です。クラブに興味のある人は、ヤングプラザにご連絡を。
※メンバー募集していないサークルもあるので注意。

友の会を知らない人のために

おうらヤングプラザ「友の会」の解説

■友の会って？

ヤングプラザを利用する若者（16～35歳）を中心に交流の輪を広げるための活動や、ヤングプラザ事業への協力を行っています。年間を通して各種イベントなどの企画や、地域社会の発展につながる活動をしています。ヤングプラザを利用する若者は、全員が友の会会員。会の運営については会費（年間500円）事業収入・補助金などで行われています。

■どんな活動があるの？

スキー&スノーボードツアー、交流パーティー、ヤングフェスティバル、日帰りバスツアー、スポーツ交流会、おうら祭り御神輿参加、ボウリング大会、クリーン作戦、その他地域社会に貢献する活動など。

#04 社会人のための劇団サークル

演劇集団 きーぷ・すまいる

小学生のとき、課外授業で「オズの魔法使い」を見て、私も演劇をやりたいと思ったんです。それから中学、高校と演劇部に入り、芸術の短期大学にも進学。卒業後「きーぷ・すまいる」を立ち上げました。



←「きーぷ・すまいる」らしい舞台を目指しています（写真は稽古風景）

サークル名は、笑顔を忘れない、笑顔を届けていきたいという想いを込めて名付けました。

現在私は仕事に就き、看護学校に通いながら活動しています。みなさんに少しでも笑顔届けられるよう、団員一同毎日頑張っています。「きーぷ・すまいる」は私にとって仕事や勉強以外で楽しく自分を高めていける場所。

社会人になると仕事以外に頑張れる場所を探すということは難しく、あきらめがちになってしまう人もいるかもしれません。私たちは、そんな人たちをウエルカムの心で待っています。団員もみんな楽しいメンバーばかりなので、興味がある人は、ぜひ一緒に笑顔と元気を届けましょう。



初めは「ヤンプラって何!？」っていう感じでした

高校のとき演劇部に所属していた流れで、豊田さんから演劇サークルと一緒にやらないかと誘われました。初めは「ヤンプラって何!？」っていう感じで、ヤングプラザが邑楽町のどこにあるのかも知らなかったんです。そんな私が、今ではサークルのある日は仕事が終わったら、東京からヤングプラザに直行しているんです。やっぱり、ここに来るとみんなと会えるし元

気をもらえるので、明るく前向きな気持ちになれます。何より、みんなとわいわい楽しく演劇するのが一番ですね。

機会があれば、もっと多くの皆さんに私たちの演劇を披露したいです。「きーぷ・すまいる」は伸びしろがあり、まだまだ発展していく演劇集団なんです。

土屋あかねさん

（東京都あきる野市）
職業・栄養士



Tsuchiya Akane

いきがいにつながる「社会人の部活」だと思います

澤 唯花さん

（前谷東原・2区）
職業・栄養士



Sawa Yuika

高校のかつての演劇部メンバーと結成した「きーぷ・すまいる」。笑いあったかつての仲間と、またこうして演劇ができるなんて、社会人になった今だからこそ、とても貴重に思えてなりません。だから、私はこの活動を「いきがいにつながる社会人の部活」だと思っています。気心の知れたメンバーなので、とに

かく居心地がいいんです。

それに私の仕事は勤務時間が不規則なので、週一回のサークル活動はリフレッシュのためにも欠かせません。仕事が終わってから活動の場として、地域にこうしたヤングプラザのような施設があるのは、とてもいいですね。今後も楽しみながら、「きーぷ・すまいる」ならではの舞台をやり続けたいです。

サークル活動ができる場所があるのは貴重です

演劇部出身という訳ではありませんが、高校時代仲の良かった友達の一人、豊田さんに誘われたのがきっかけで入りました。サークルでは、裏方兼応援団長として自分のできる範囲のことをやっています。定期的に集まるサークル活動は、楽しみの一つですし、何より友達と会えるのが、貴重だと思います。

邑楽町に若者のために夜間開放している施設

があるのは知りませんでした。ヤングプラザ友の会主催のバーベキューにも参加しましたが、こういった若者向けの施設の存在は、大切だと思います。

見ているお客さんに元氣とパワーを与えられるような演劇を「きーぷ・すまいる」のメンバーと目指したいです。

松本優佳さん

（千代田町）
職業・歯科助手



Matsumoto Yuka



↑お年寄りと交流を深める子どもたち。そこには笑顔があふれていました（つむぎの里「よっていっせ」主催のみんなで歌うコーラスの集いより）

多くの皆さんに知ってほしい、町の支援や補助制度

まちのサポート紹介します

今回のクローズアップでは、「こんなとき、どんな制度を利用するの」、「こういう場合、補助制度の対象にならないの」といった場合のお役立ち情報を掲載しています。町の制度は、町民の皆さんに知ってもらわなければ意味がありません。知っていればこそ、困ったときや必要なときの利用につながるのです。たとえ今すぐ利用しなくても、広報誌を通じて「まずは知ること」を実践してみてはいかがでしょうか。

まちの福祉制度から災害対策のサポート、子どもの予防接種まで一挙ご紹介。それぞれのご家庭の事情や生活に合わせた「まちのサポート」を、ぜひご利用ください。

Closeup
クローズアップ

取材を終えて 活動を知ってもらうためには工夫が必要

取材をもとに問題点が2つ見えたような気がします。
①ヤングプラザでの活動があまり知られていない
②入りたくても一人ではなかなか入る勇気がでない
①については、ヤングプラザでの活動を知ってもらうための工夫が必要だと考えます。もつといろいろな所に宣伝して、サークルの知名度を上げることが大切。私たち「きーぷ・すまいる」も活動の場を広げて、もつとみなさんに知っていただきたいと思っています。
②については、サークルや友の会専用のホームページをつくって、メッセージや掲示板を掲載し、誰でも簡単にメッセージを書き込めるようにするのはどうでしょうか。そこでサークルのみなさんと交流を持ってもらい、まず雰囲気をつかんでもらう。そうすると見学にも行きやすいと思うんです。
友の会のみなさんはいい人ばかりなので、交流を持ってもらえば、サークルにも入りたくなること間違いなしです。若者のみなさん、勇気を出すなら今ですよ！
街角特派員 豊田小百合

MACHIKADO REPORT



3月8日と9日に開催

Youngな祭りで大フィーバー

ヤングフェスティバル

地元LOVE オラ 邑楽(ORA)が好きだあ〜♥
作品展示、お茶会、体験コーナー、模擬店、ロビーピア
ノコンサート(柏瀬友弘さん)、東北支援物資販売、東北
応援陶器チャリティーバザーなどが行われました。3月
1日~7日の間はスポーツ交流大会(フットサル、卓球、
バドミントン、バドルテニス)も開催。

楽しいイベントなどが盛りだ
くさん。ゆかいな仲間がヤン
グプラザで待ってますよ!!



取材にご協力いただいたみなさん、
ご協力ありがとうございました。心より感謝します。